

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

|          |   |
|----------|---|
| 会 議 名    | 令和２年度 第１回高松市文化芸術振興審議会   |
| 開催日時     | 令和２年７月１０日(金) １９時００分～２１時００分  |
| 開催場所     | 高松市役所 １３階 大会議室  |
| 議 題      | (１) 高松市文化芸術振興計画に掲げる事業の取組状況について<br>(２) 高松版文化芸術プラットフォームの構築について<br>(３) 新型コロナウイルス感染症に係る本市の文化芸術に関する支援等について<br>(４) その他<br>今後のスケジュールなど |
| 公開の区分    | <input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開                               |
| 上記理由     | 内容が検討段階のものであり、公開になじまないため。   |
| 出席委員     | 青山委員、鹿庭委員、鎌田委員、北岡委員、島田委員（副会長）、多田委員、田中委員、橋本委員（会長）、林委員、若井委員 計１０人<br>(欠席５人 甘利委員、金川委員、木ノ下委員、谷委員、水嶋委員)                               |
| 傍 聴 者    | ０人 (傍聴席４人程度を確保)   |
| 担当課及び連絡先 | 高松市文化芸術振興課 ０８７-８３９-２６３６   |

| 審議経過及び審議結果  |
|---|
| <p>会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。</p> <p>(１)高松市文化芸術振興計画に掲げる事業の取組状況について<br/>令和元年５月に策定にされた「第２期高松市文化芸術振興計画」に掲げる事業の取組状況について事務局から説明し、次のとおり意見があった。</p> <p>&lt;高松市文化芸術ホール改修に伴う長期休館について&gt;</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休館中の民間施設を含めた代替施設の確保は行うのか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香川県県民ホールの優先利用について、香川県と協議を継続している。</li> </ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間施設の活用や、民間施設への補助事業は検討しているか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間ホールの活用についても、アーティストへの直接支援と共に重要だと認識しており、今後検討したい。</li> </ul> |

(委員)

- ・今年度大規模改修の項目で予算化されているが、工事費か。

(事務局)

- ・実施設計費用であり、工事費は令和4年度、5年度に計上する。

(委員)

- ・休館中における高松市の関連事業の開催について、早急に会場の選定をお願いしたい。

(事務局)

- ・可能な限り早く結論を出したい。

<新型コロナウイルス感染症拡大に対する影響について>

(委員)

- ・ホール等の来場鑑賞者の追跡について、地域差もあり一律の適用が馴染まないと考えるが、どのような認識を持っているか。

(事務局)

- ・高松市主催イベントに関しては、国の開催基準に則って感染症拡大予防対策を講じ、開催する。

(委員)

- ・高松市主催イベントについて、開催可否をどのような判断で行っているか。

(事務局)

- ・感染症拡大予防対策をどこまで講じ、感染症拡大の危険性を下げて開催可能かを判断している。

(委員)

- ・学校を訪問し開催する文化芸術事業について、受け入れる学校側の反応はどのようなものか。

(事務局)

- ・学校によって温度差はあるため、今年度については、受け入れを承諾した学校を訪問することとしている。

(委員)

- ・計画作成時の状況と現状が大きく異なっているが、現状に合わせた計画の修正等について具体例があれば聞きたい。

(事務局)

- ・計画を修正の上、明示して支援するというより、試行錯誤しながら活動する各主体に応じた支援を柔軟に行っていく。

<芸術士派遣事業について>

(委員)

- ・多額の予算が計上されており、1回あたりで計算すると高額になるが、内容は何か。また、活動が芸術に特化しているが、身体表現、音楽等にも広げてほしい。

(事務局)

- ・保育園・こども園34か所で各48回、幼稚園9か所で各40回開催しており、絵画、造形等のみならず、ダンスや身体表現、音楽等多彩な分野が含まれている。

<高松市文化芸術ホールについて>

(委員)

- ・ホールの今後の施策について、現状と比較し、どのように変えたいか。

(事務局)

- ・現在、高松市文化芸術財団が指定管理者として貸し館業務を担っている。プラットフォームの構想が関わってくるが、今後財団がホールを拠点に、新たな文化芸術の創出や、相談窓口の開設等が行えることが理想形である。

<高松市文化芸術振興計画における具体的取組について>

(委員)

- ・取組みの一部に人数を成果指標としないとあるが、具体的には何で、いつ頃設定し、どこが評価するのか。

(事務局)

- ・該当する事業の趣旨が文化芸術活動を行う者の育成であり、人数の多寡だけで判断することは妥当ではないと考えている。成果指標の設定等については、今後検討していく。

(委員)

- ・文化芸術ホール自主事業（演劇ワークショップ）について、令和2年度は予算がついていないのか。

(事務局)

- ・費用対効果を鑑み、令和2年度については予算を別事業に振り分けている。

(委員)

- ・学校教育推進事業について、課題として講師となる地域人材の確保が困難とあるが、具体例はあるか。

(事務局)

- ・各学校において分野毎に講師を選定し依頼するが、人的つながりに依拠しているのが現状である。新たな分野で講師を選定しようとしても、各校区内でその人材を見つけることが困難で、講師となる人材が固定化している。

(2) 高松版文化芸術プラットフォームの構築について

非公開

(3) 新型コロナウイルス感染症に係る本市の文化芸術に関する支援等について

非公開

(4) その他

今後のスケジュールなど

非公開

以 上